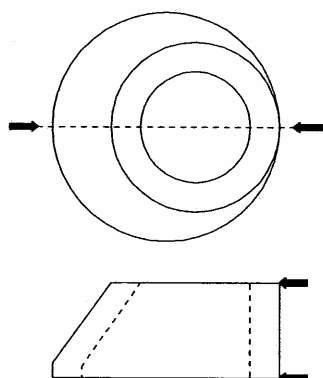


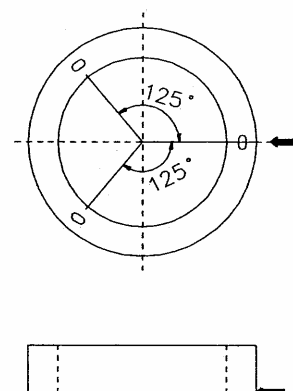
(2) 組立式マンホール

図表 2 - 1 - 1 接合用マーク
(組立式マンホール共用)

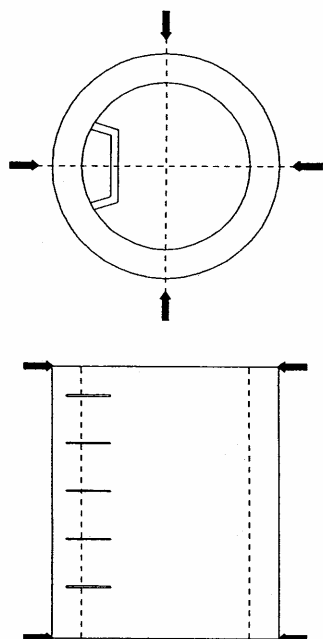
上絞部ブロック



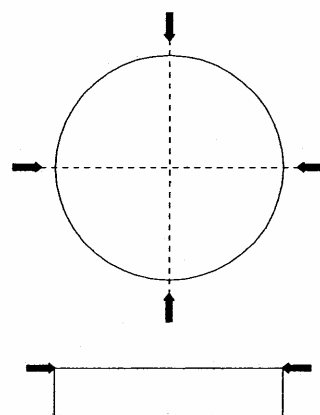
調整リング



継足管・直立管



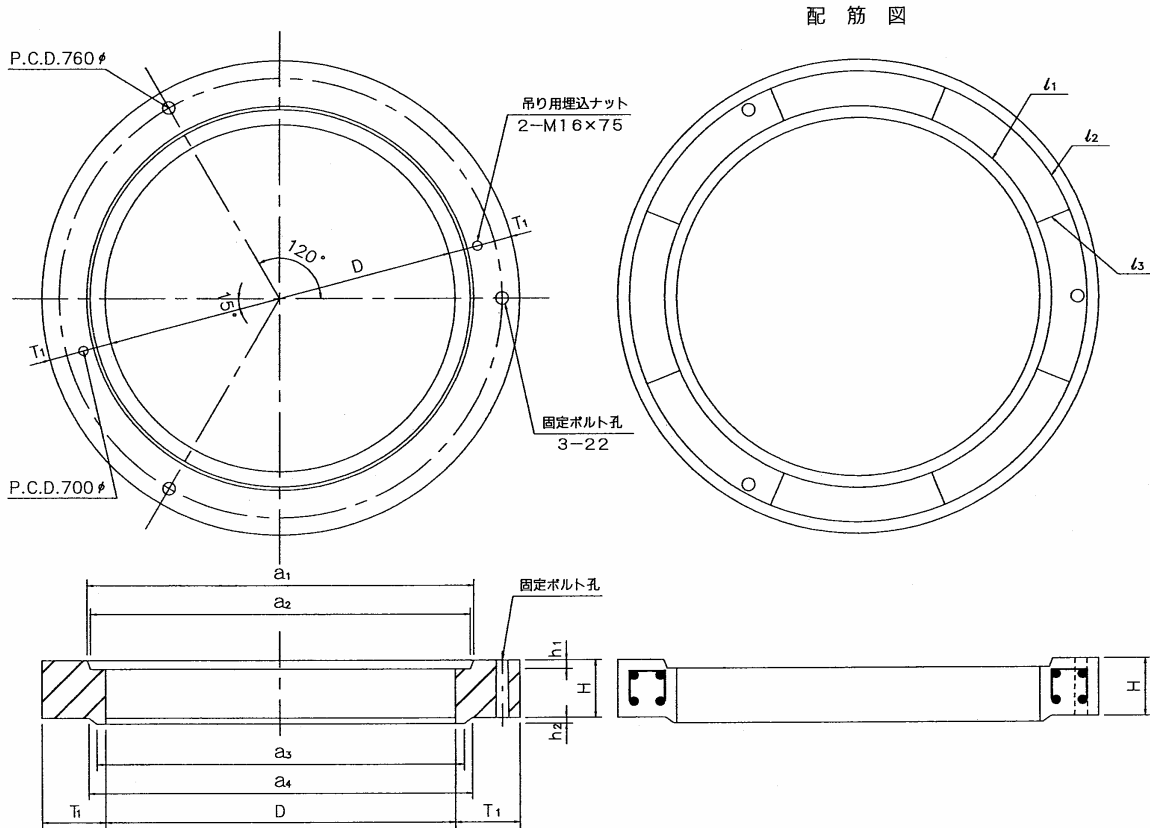
底版ブロック



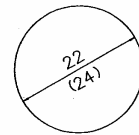
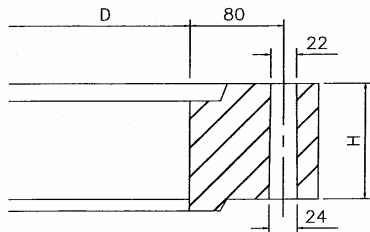
コンクリート製部材の接合用マークを図示する位置(←印)に表示するものとする。表示する記号は三角形を標準とし上側にマーキングするときは、三角形の頂点が上向きに、下側の場合は同様に下向きに施すものとし、部材を組み合わせたとき、三角形の頂点が向き合うようにする。

なお、接合用マークが製作品に有害なものとならないようにする。

図表 2 - 2 - 1 調整リング
(組立式マンホール共用)



固定ボルト孔詳細図



() 書きは、下面の数値である
ボルト穴

寸法・許容差表

単位：mm

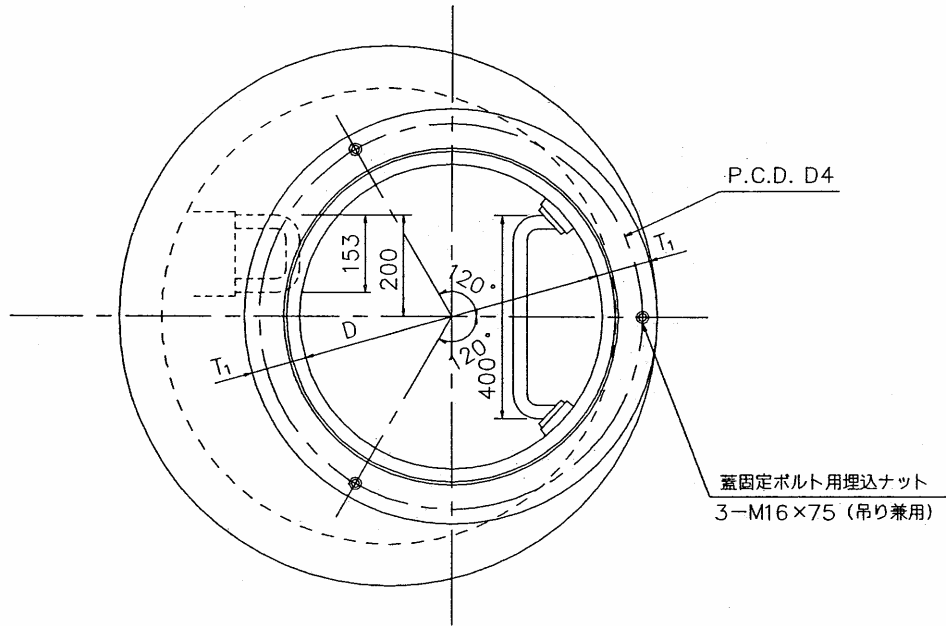
	D	T ₁	H	a ₁	a ₂	a ₃	a ₄	h ₁	h ₂
部材寸法	600	110	50	664	652	650	658	15	10
			100						
			150						
許容差	±4	+4, -2	±5	±3			±2		

配筋表

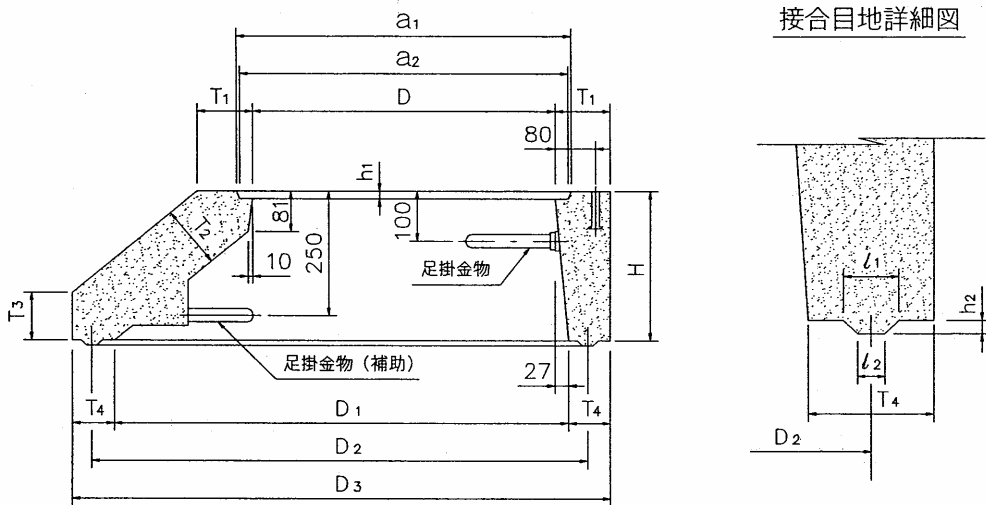
H	I ₁	I ₂	I ₃
50mm	1本	1本	8本
100mm	2本	2本	8本
150mm	3本	3本	8本

- 鉄筋径は全て 4mm とする。
- I₃ は輪筋 (I₁ I₂) を取り込むように配筋する。
- 50mm は外側を厚さ 2.3mm で 材質が JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材) SS400 の鋼板で巻くこととする。
- 吊り用埋込ナットは、呼び名 100, 150 に設置する。

図表 2 - 3 - 1 上絞部ブロック (形状・寸法・許容差)
 (組立式マンホール共用)
 ・1号型 (旧小型)・旧号型



1号型



(寸法・許容差)

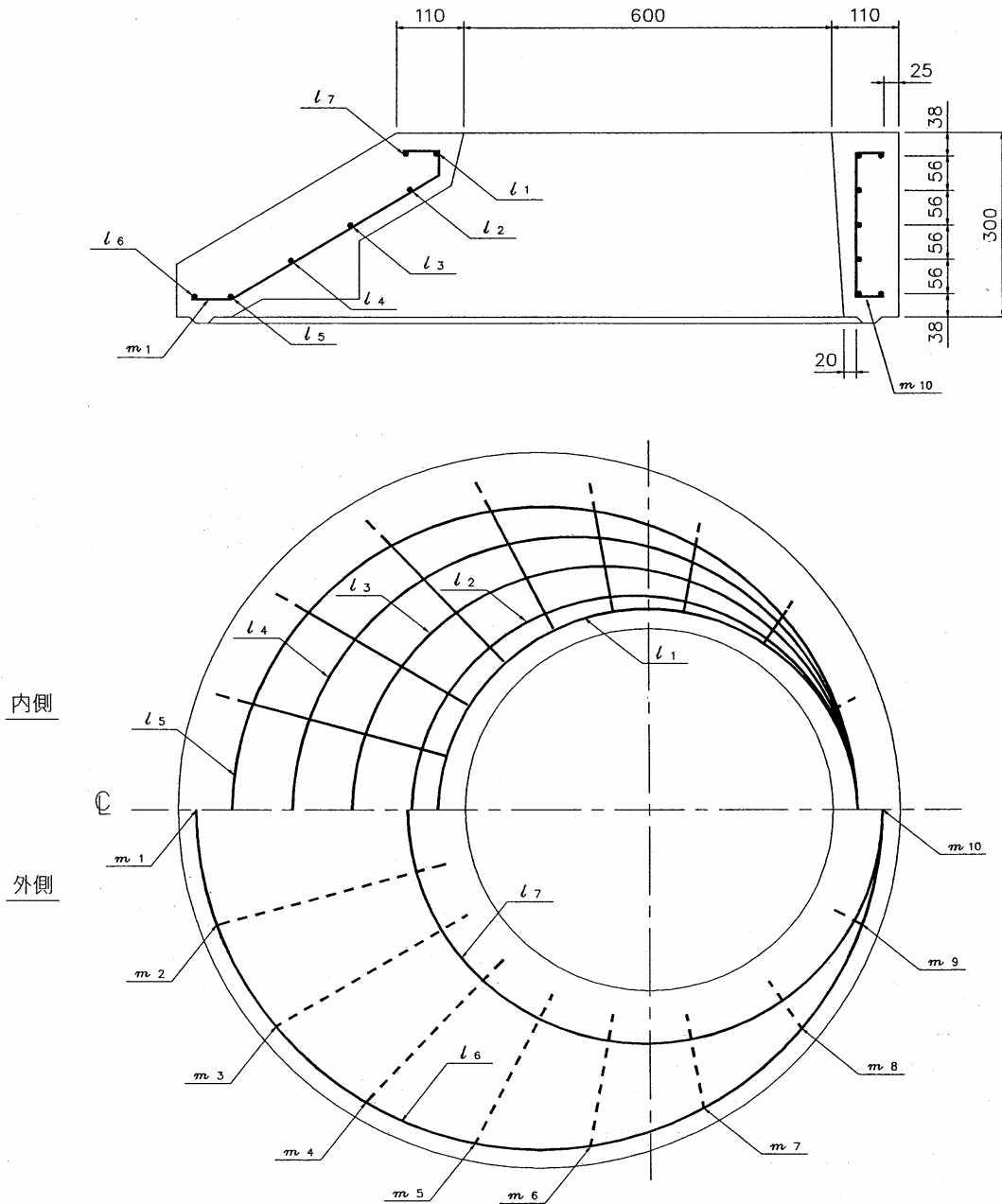
(mm)

種類	D	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	a ₁	a ₂	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	H	h ₁	h ₂	l ₁	l ₂
1号型 (旧小型)	600	900	983	1066	760	664	652	110	126	95	83	300	15	10	40	20
旧号		1000	1090	1180					120	86	90					
許容差	+4, -2	±3				±3		+4, -2	+4, -2			±5	±2		±2	

平成10年度……号 (1000) 小型 (900)

平成11年度……1号 (900)

図表 2-3-2 上絞部ブロック (配筋図)
 (組立式マンホール共用)・1号型(旧小型)・旧 号型



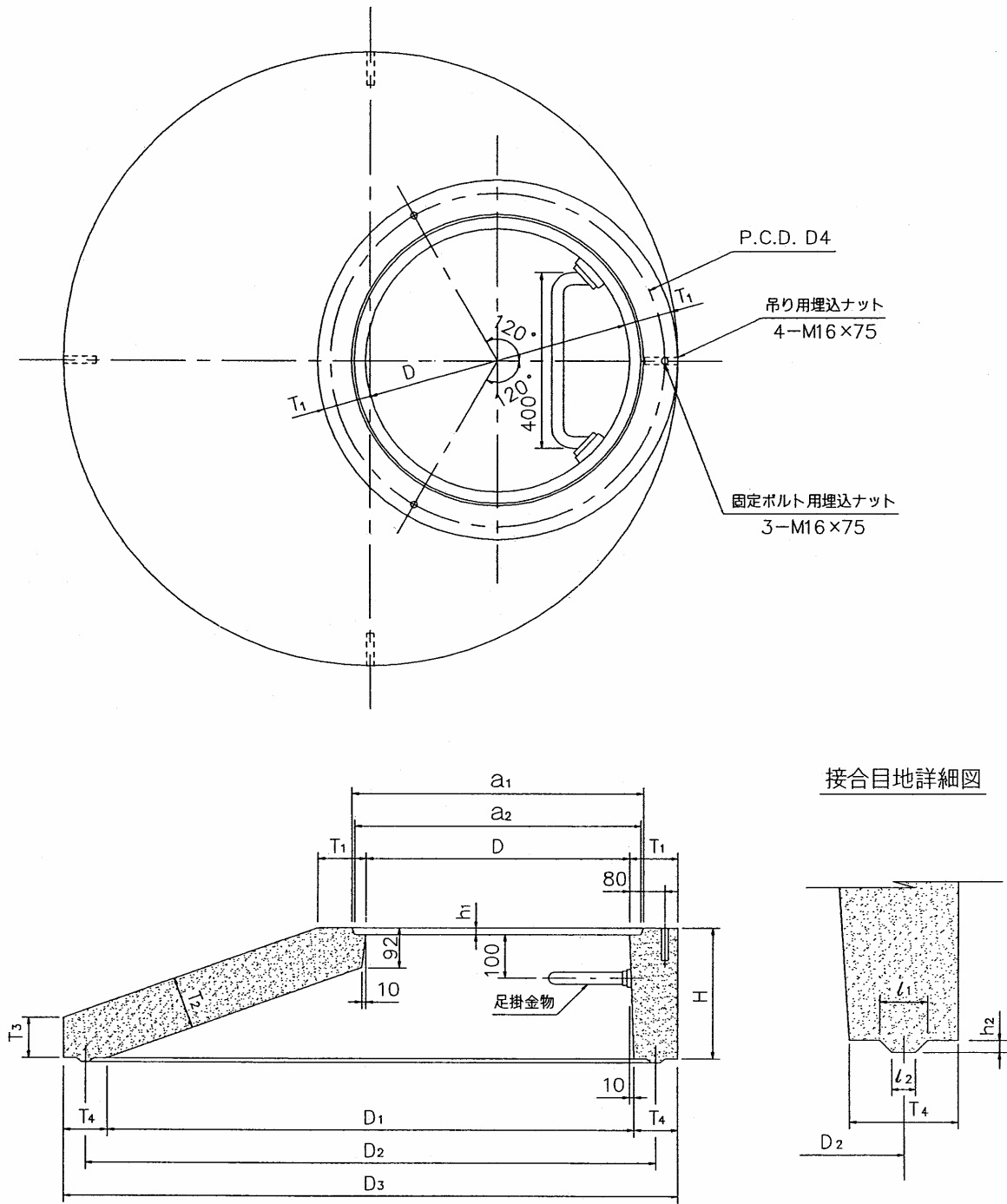
配筋表

輪筋	$l_1 \sim l_7$	各1本	計7本
縦筋	m_1, m_{10}	各1本	計2本
	$m_2 \sim m_9$	各2本	計16本

1. JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)に規定する丸鋼(SR235)の鋼径は、9mmを用いる。
2. 鉄筋の純かぶり(コンクリート面と直角)を標準とする。

附属物を取り付けるときに鉄筋が所定の位置に配筋できなくなる場合は、構造上支障のない範囲で配筋位置をずらすことができる。

図表 2 - 3 - 3 上絞部ブロック (形状・寸法・許容差)
(汚泥圧送管用)

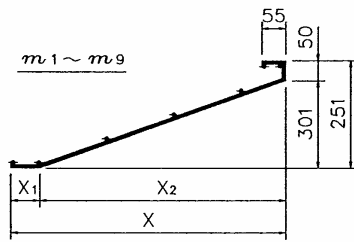
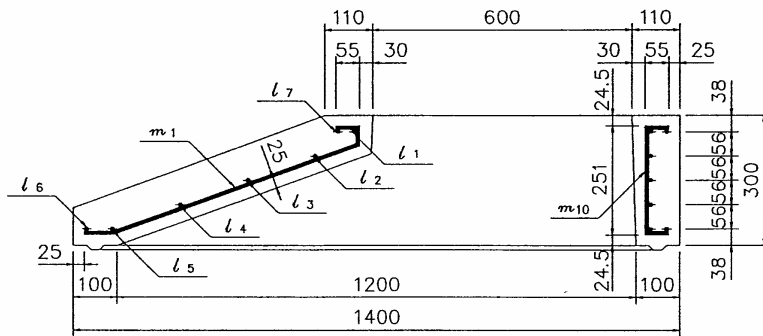


(寸法・許容差)

(mm)

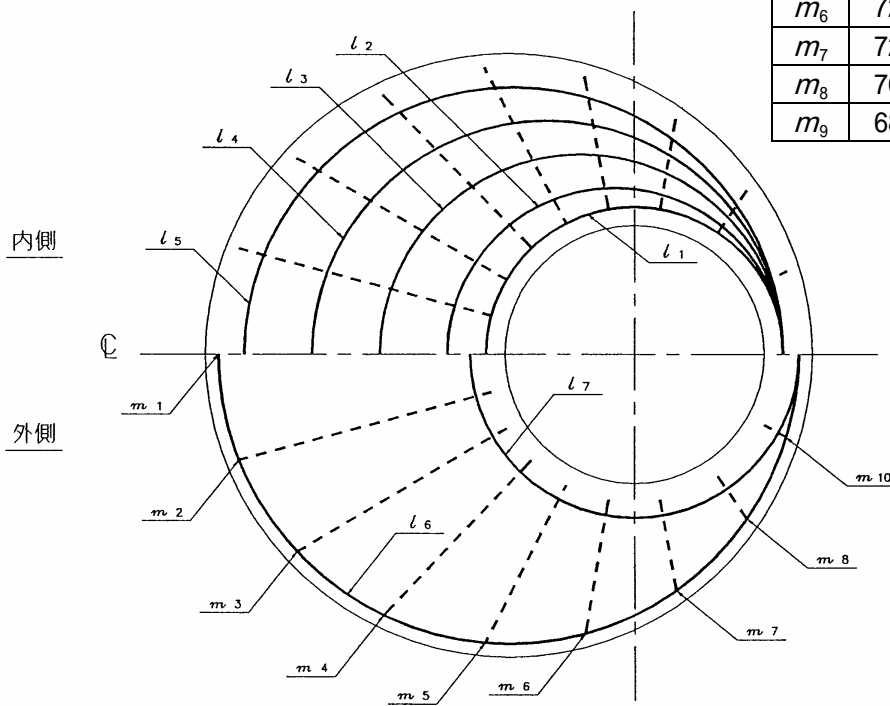
種類	D	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	a ₁	a ₂	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	H	h ₁	h ₂	l ₁	l ₂
寸法	600	1200	1300	1400	760	664	652	110	120	92	100	300	15	10	40	20
許容差	±6		±3		±2	±3		+6, -3			±5	±2				

図表 2 - 3 - 4 上絞部ブロック (配筋図)
(汚泥圧送管用)



	縦筋 (mm)		
	X ₁	X ₂	X
m ₁	67	568	635
m ₂	67	555	622
m ₃	68	518	586
m ₄	70	458	528
m ₅	71	379	450
m ₆	72	285	357
m ₇	72	185	257
m ₈	70	90	160
m ₉	68	16	84

	輪筋 (mm)	
	径	
l ₁	687	
l ₂	776	
l ₃	932	
l ₄	1088	
l ₅	1244	
l ₆	1340	
l ₇	760	



配筋表

輪筋	l ₁ ~ l ₇	各 1 本	計 7 本
縦筋	m ₁ , m ₁₀	各 1 本	計 2 本
	m ₂ ~ m ₉	各 2 本	計 16 本

1. JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に規定する, D 13 mm を用いる。
2. 鉄筋の純かぶり (コンクリート面と直角) を標準とする。
3. 附属物を取り付けるときに鉄筋が所定の位置に配筋できなくなる場合は, 構造上支障のない範囲で配筋位置をずらすことができる。

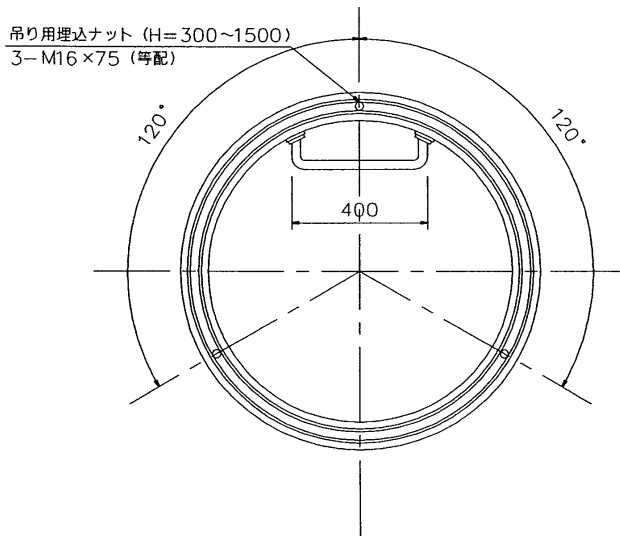
図表 2-4-1 継足管 (900・1000)
・1号型 (旧小型)・旧 号型

(寸法・許容表)

(mm)

種類	D	D ₁	D ₂	T ₂	H	h ₁	h ₂	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄
1号型 (旧小型)	900	983	1066	83	300,600,900 1200,1500	12	10	40	20	25	42
旧号				90							
許容差	±4	±3		+4, -2	±5	±2					

l₃の34mmは吊り用埋込ナット部

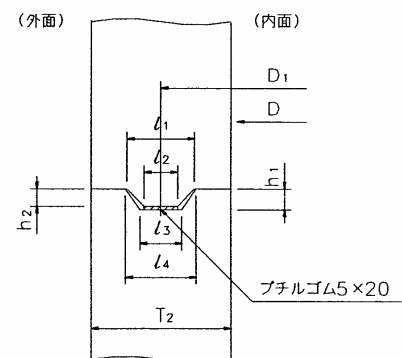
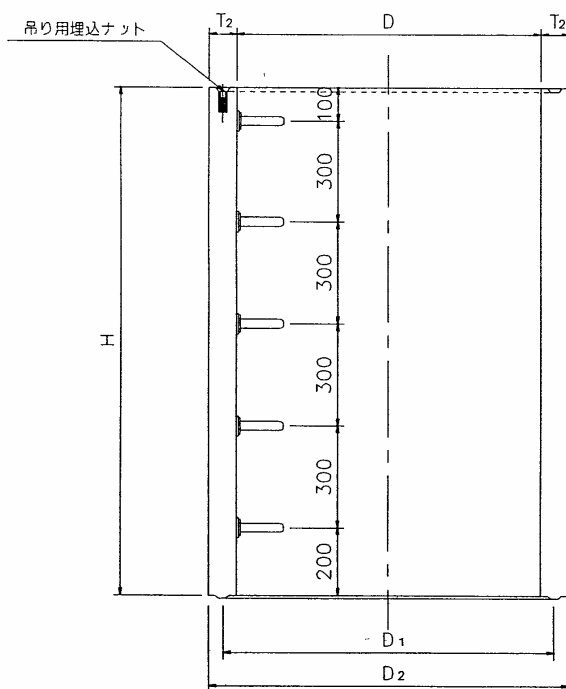


足掛金物設置数

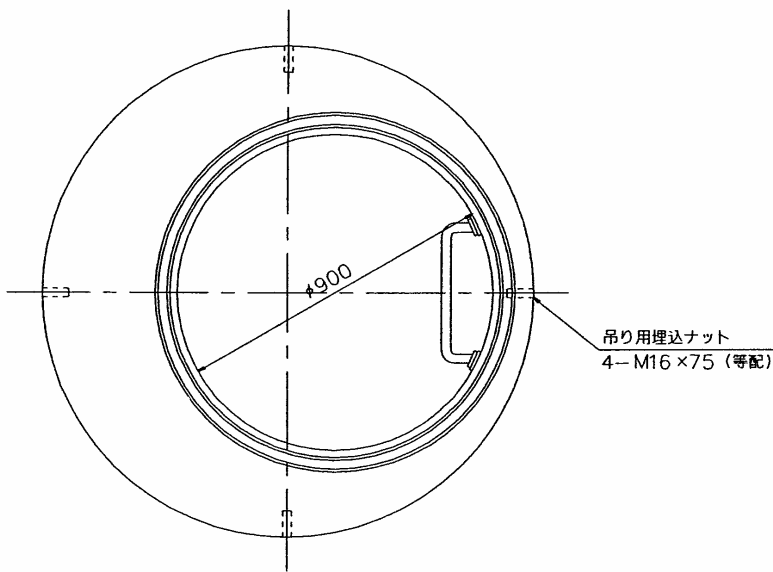
H	設置数
150	1
300	1
600	2
900	3
1200	4
1500	5

断面図 (S=1/20)

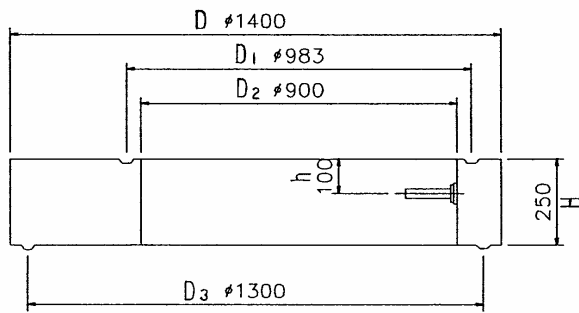
(接合目地部詳細図)



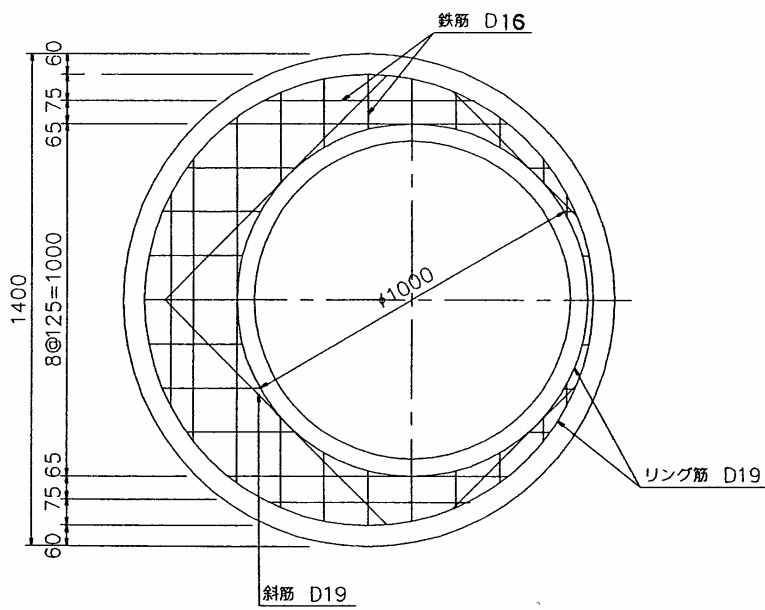
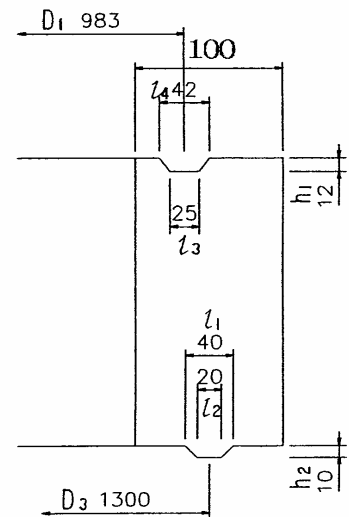
図表 2 - 5 - 1 頂版ブロック (2号型)



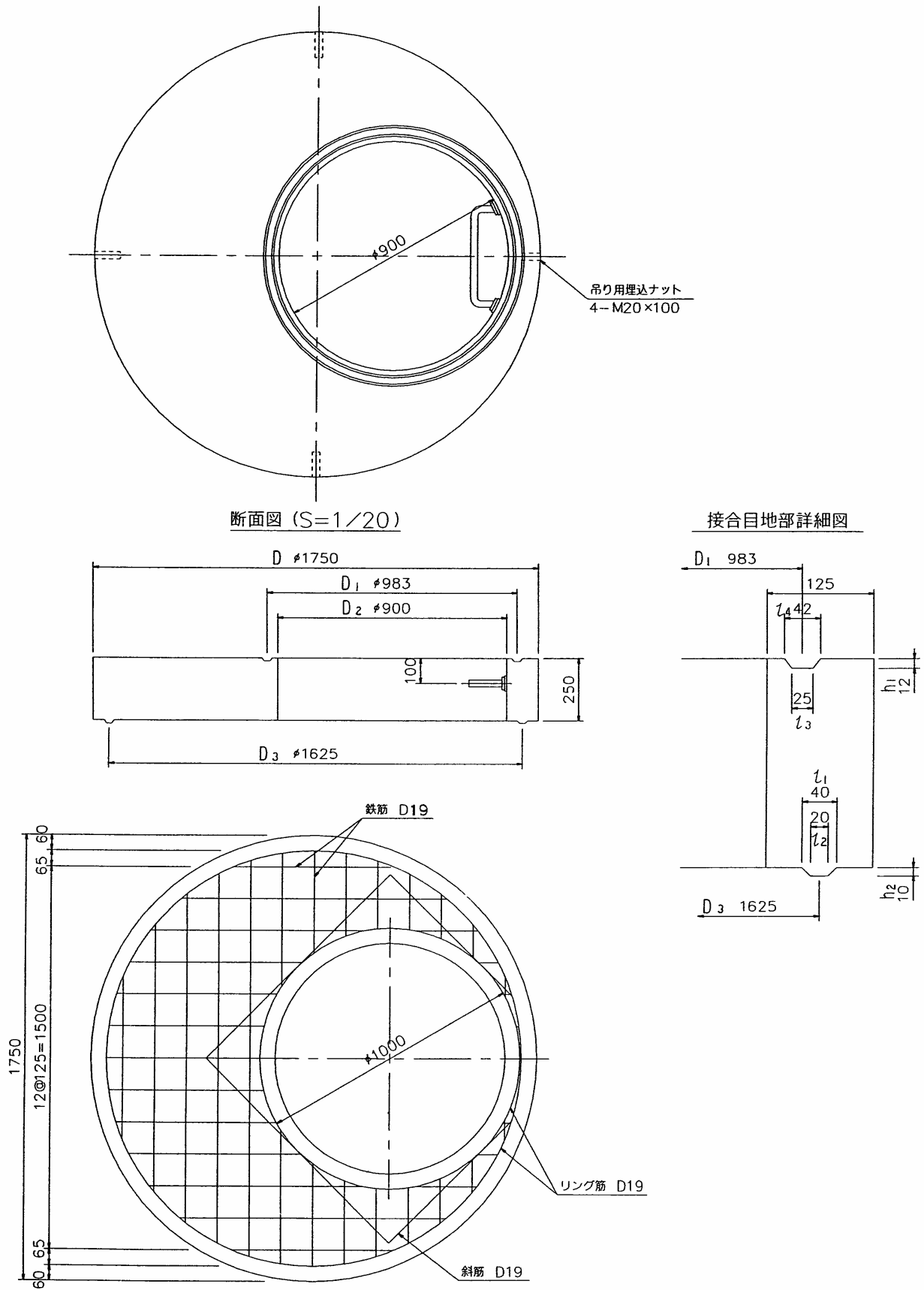
断面図 (S=1/20)



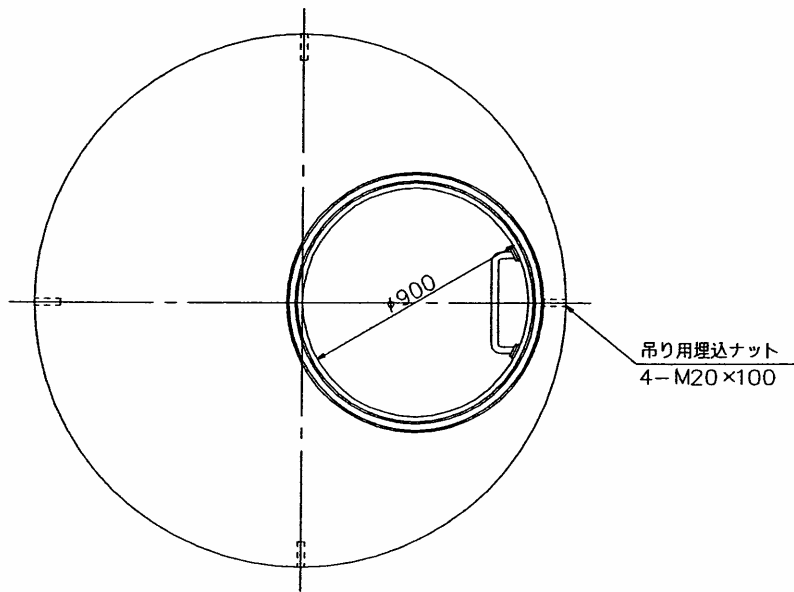
接合目地部詳細図



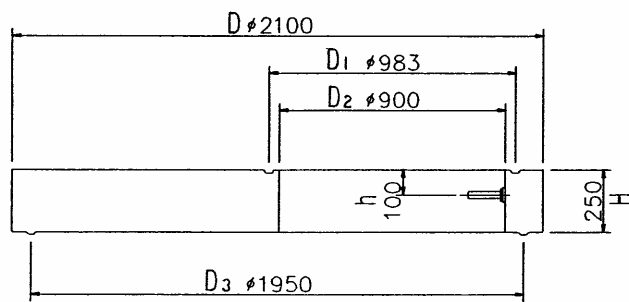
図表 2 - 5 - 2 頂版ブロック (3号型)



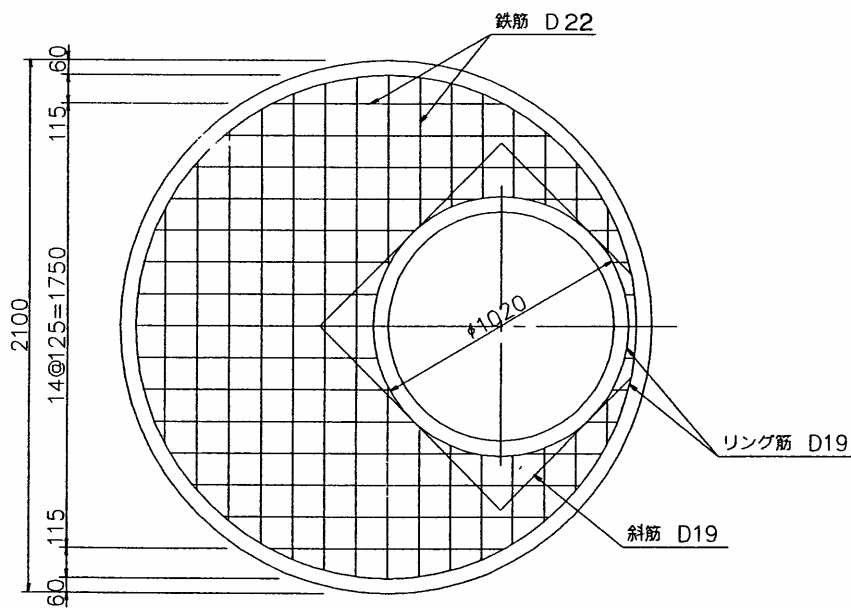
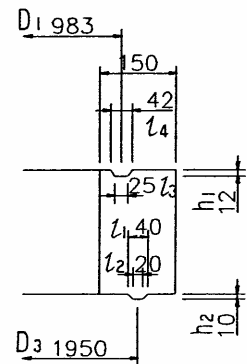
図表 2 - 5 - 3 頂版ブロック (4号型)



断面図 (S=1/30)



接合目地部詳細図

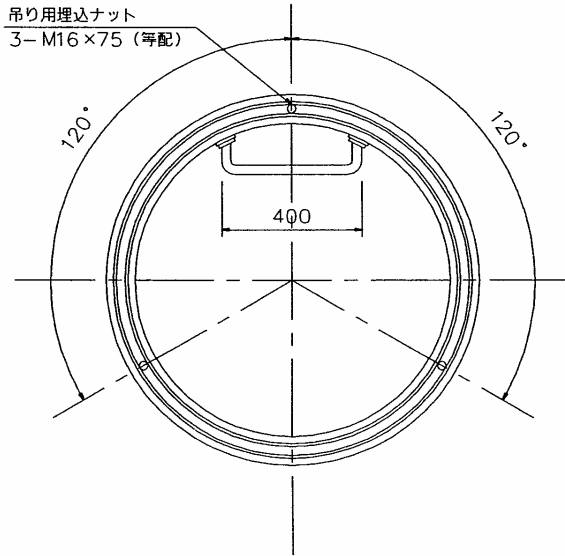


図表 2 - 6 - 1 直立管 (1号型)
 ・ 1号型 (旧小型) ・ 旧 号型

(寸法 ・ 許容差表)

(mm)

種 類	D	D ₁	D ₂	T ₂	H	h ₁	h ₂	I ₁	I ₂	I ₃	I ₄	
1号型 (旧小型)	寸法	900	983	1066	83	1050, 1200, 1500	12	10	40	20	25	42
旧 号型		1000	1090	1180	90							
許容差		±4	±3		+4, -2	±5		±2				

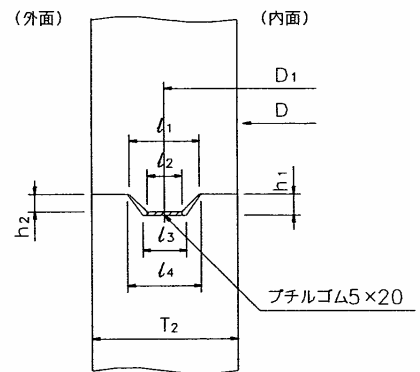
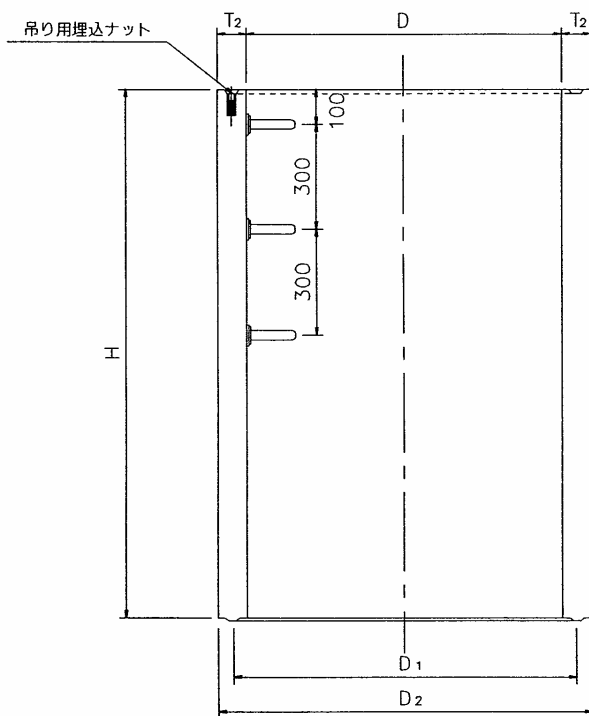


足掛金物設置数

H	設置数
1050	2
1200	2
1500	3

断面図 (S=1/20)

(接合目地部詳細図)



図表 2 - 6 - 2 直立管 (2号型)

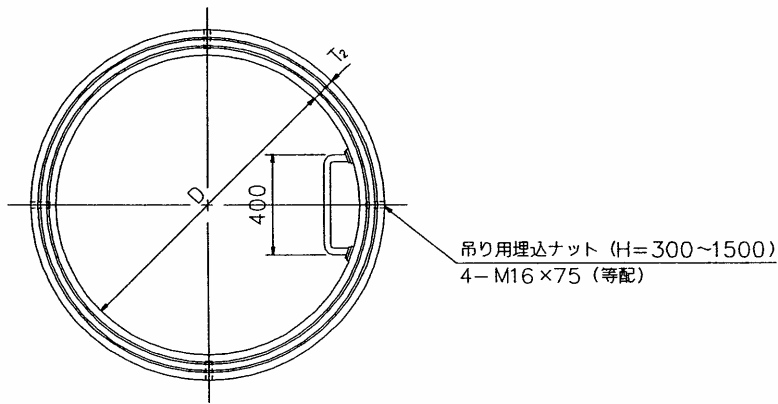
(寸法・許容差表)

(mm)

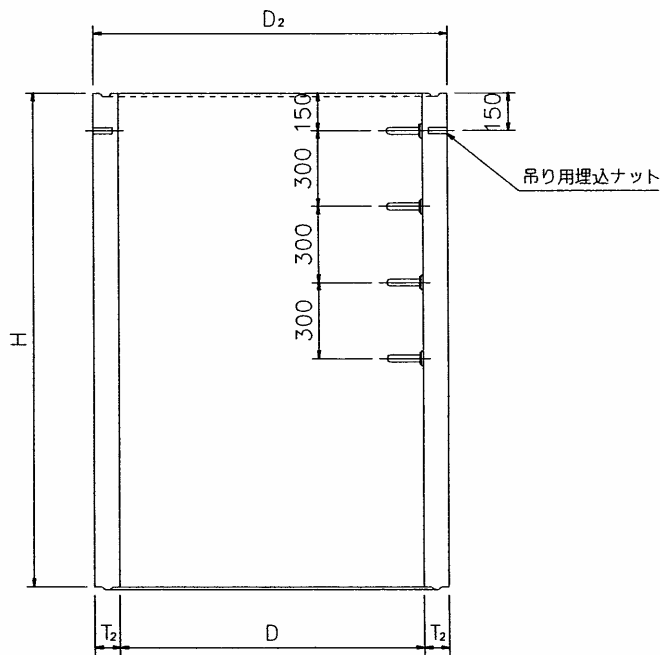
種 類	D	D ₁	D ₂	T ₂	H	h ₁	h ₂	I ₁	I ₂	I ₃	I ₄
寸 法	1200	1300	1400	100	300, 600, 900 1950, 2100	12	10	40	20	25	42
許容差	±6	±3		+6, -3	±5	±2					

足掛金物設置数

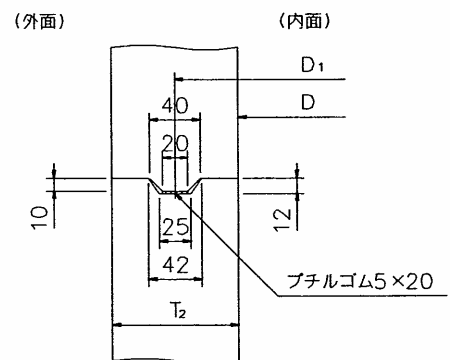
H	直立管	管取付壁
300	1	
600	2	
900	3	
1950		4
2100		5



断面図 (S=1/30)



接合目地部詳細図



図表 2 - 6 - 3 直立管 (3号型)

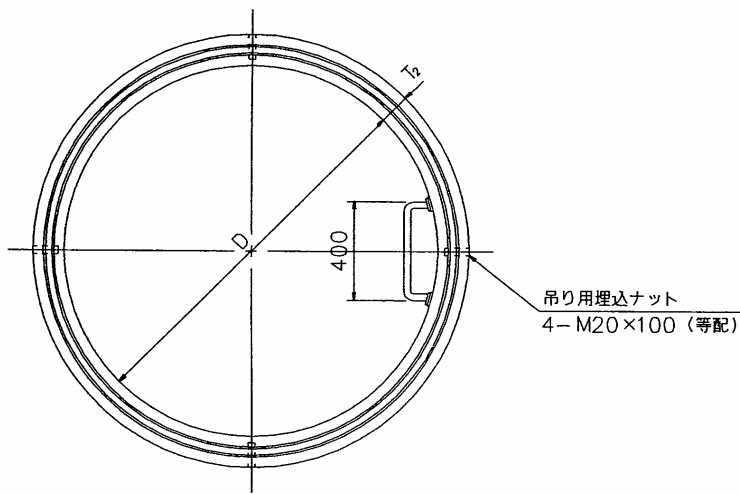
(寸法・許容差表)

(mm)

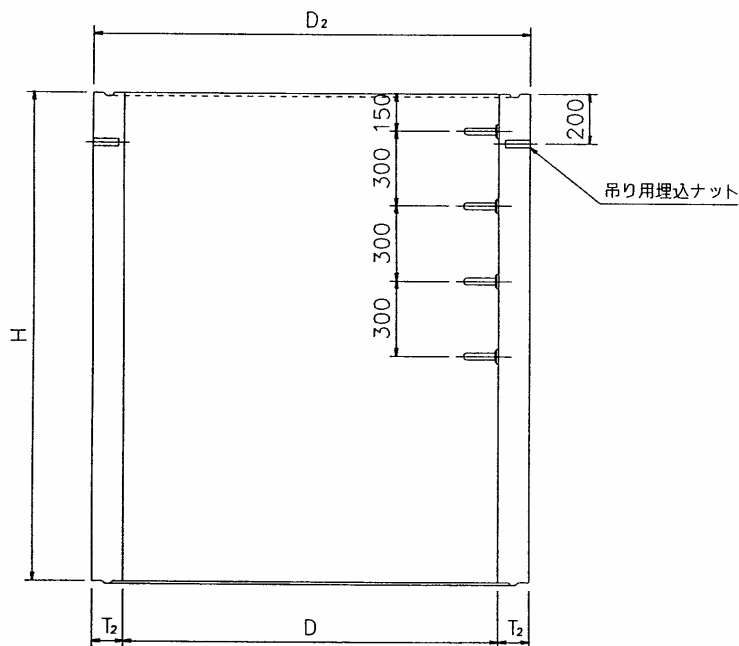
種 類	D	D ₁	D ₂	T ₂	H	h ₁	h ₂	I ₁	I ₂	I ₃	I ₄
寸 法	1500	1625	1750	125	600, 900 1500, 1950	12	10	40	20	25	42
許容差	± 8	± 3		+ 8, - 4	± 5	± 2					

足掛金物設置数

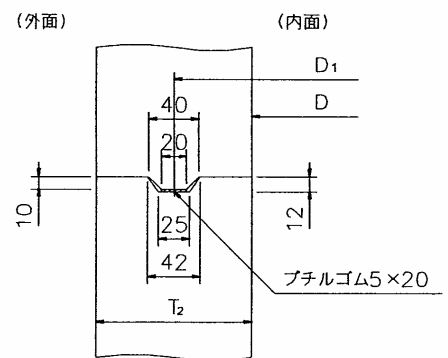
H	直立管	管取付壁
600	2	
900	3	
1500	4	
1950		4



断面図 (S=1/30)



接合目地部詳細図



図表 2 - 6 - 4 直立管 (4号型)

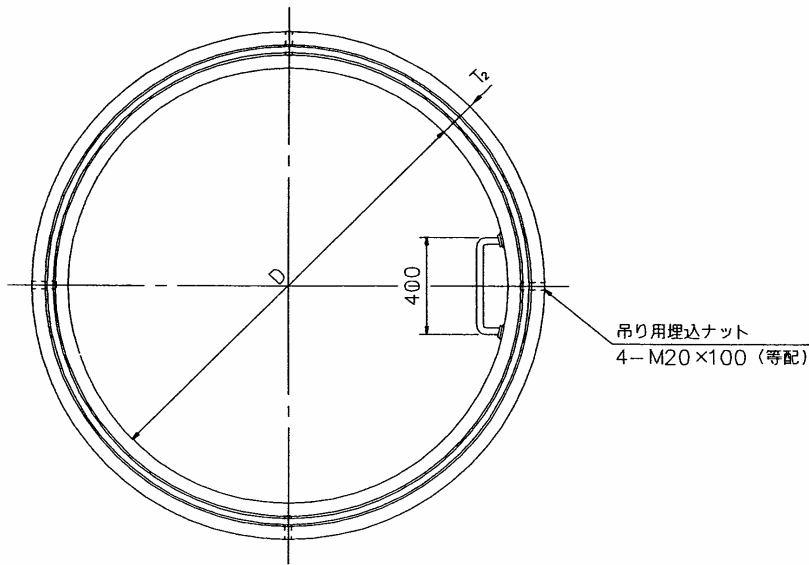
(寸法・許容差表)

(mm)

種 類	D	D ₁	D ₂	T ₂	H	h ₁	h ₂	I ₁	I ₂	I ₃	I ₄
寸 法	1800	1950	2100	150	600, 900 1500, 1950	12	10	40	20	25	42
許容差	± 8	± 3		+ 8, - 4	± 5	± 2					

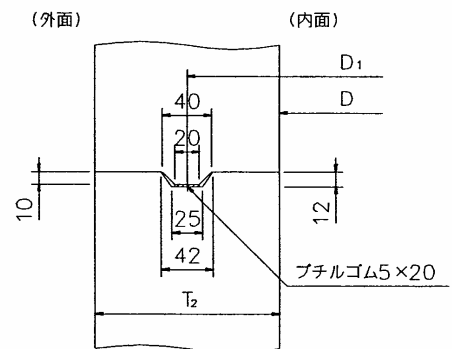
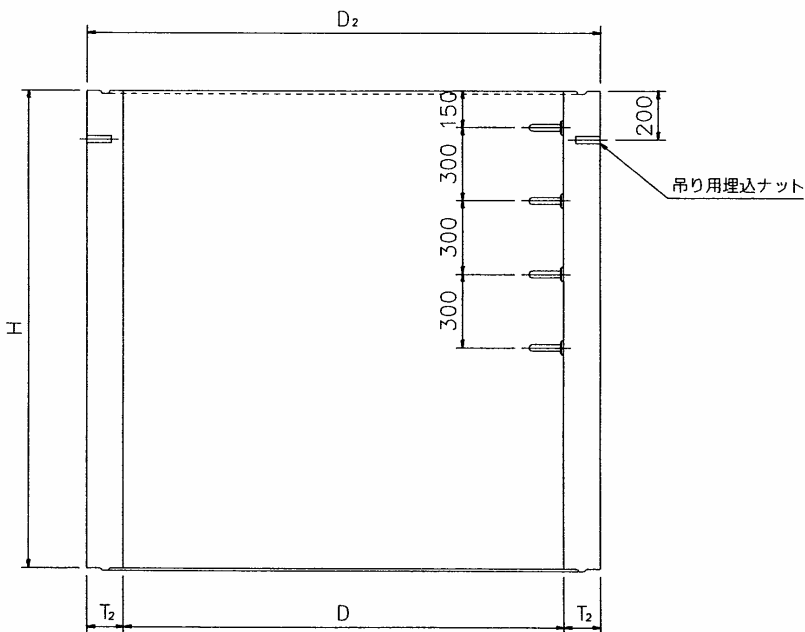
足掛金物設置数

H	直立管	管取付壁
600	2	
900	3	
1500	4	
1950		4

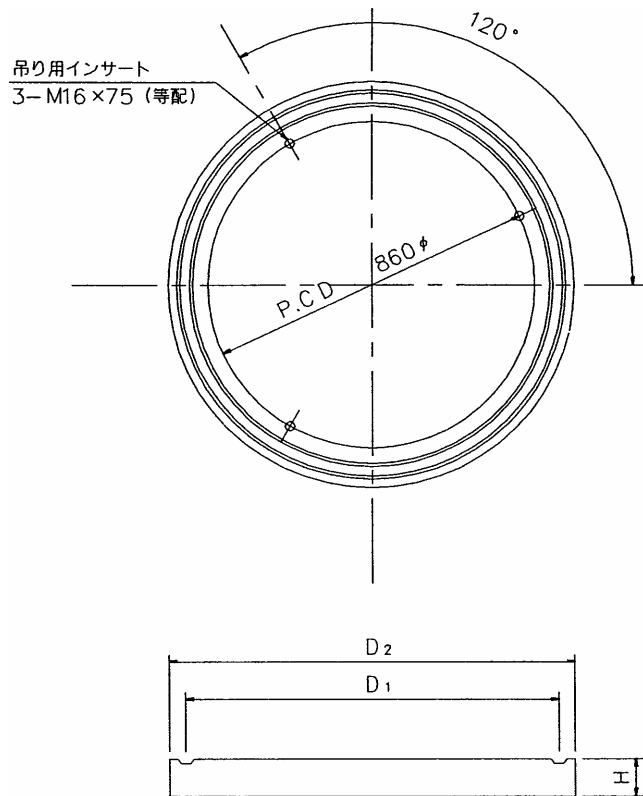


断面図 (S=1/30)

接合目地部詳細図



図表 2 - 7 - 1 底版ブロック (形状・寸法・許容差)
1号型 (旧小型)・旧 号型

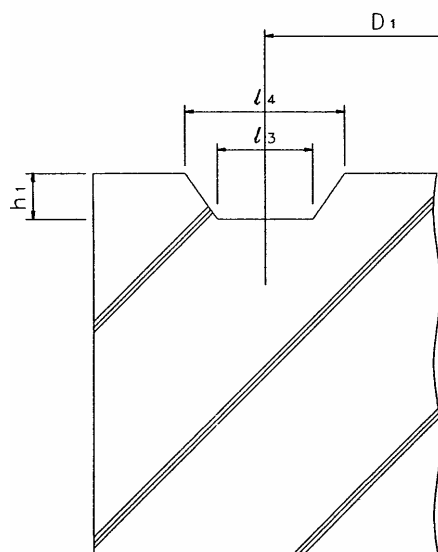


(寸法・許容差表)

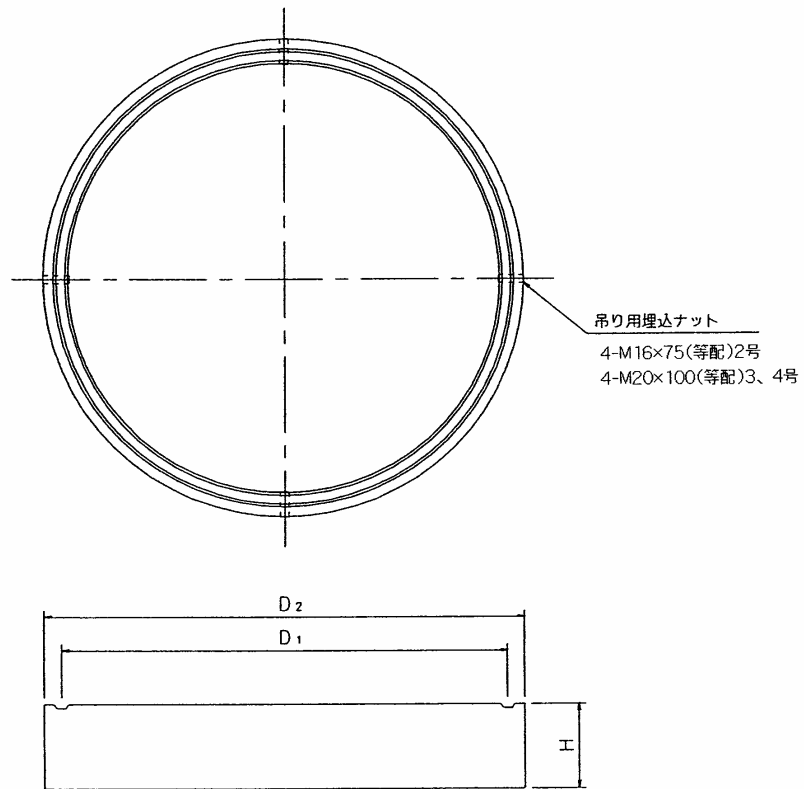
(mm)

種 類		D ₁	D ₂	H	h ₁	l ₃	l ₄
1号型 (旧小型)	寸法	983	1070	150	12	25	42
		旧 号型	1090				
許容差		±3		±5	±2		

接合部詳細図



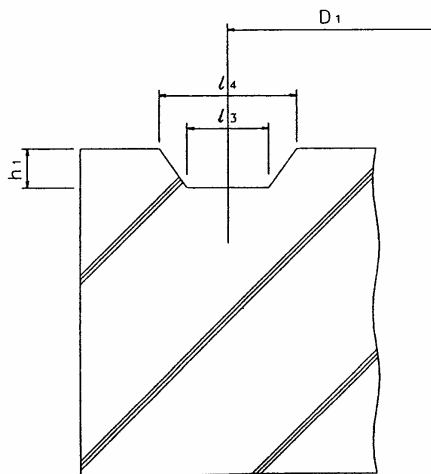
図表 2 - 7 - 2 底版ブロック (形状・寸法・許容差)
(2 ~ 4号型)



(寸法・許容差表) (mm)

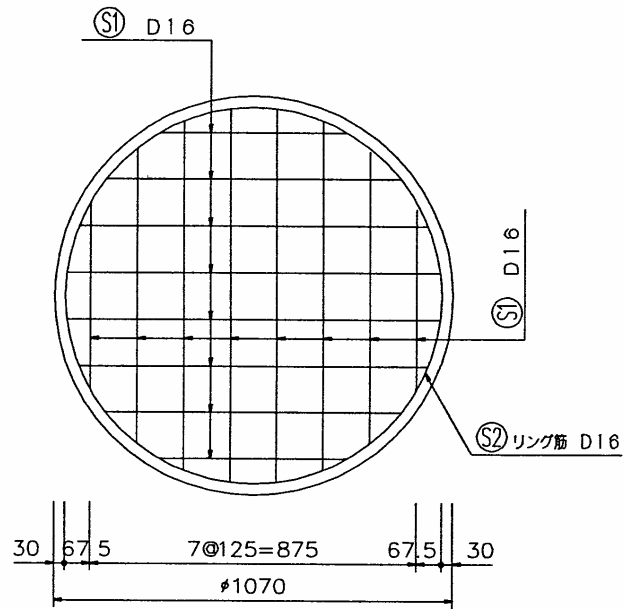
種類	D ₁	D ₂	H	h ₁	l ₃	l ₄	吊り用埋込ナット
2号	1300	1400	150	12	25	42	4個, M16×75
3号	1625	1750	250				4個, M20×100
4号	1950	2100					
許容差	±3	±8	+8, -4	±2			

接合部詳細図

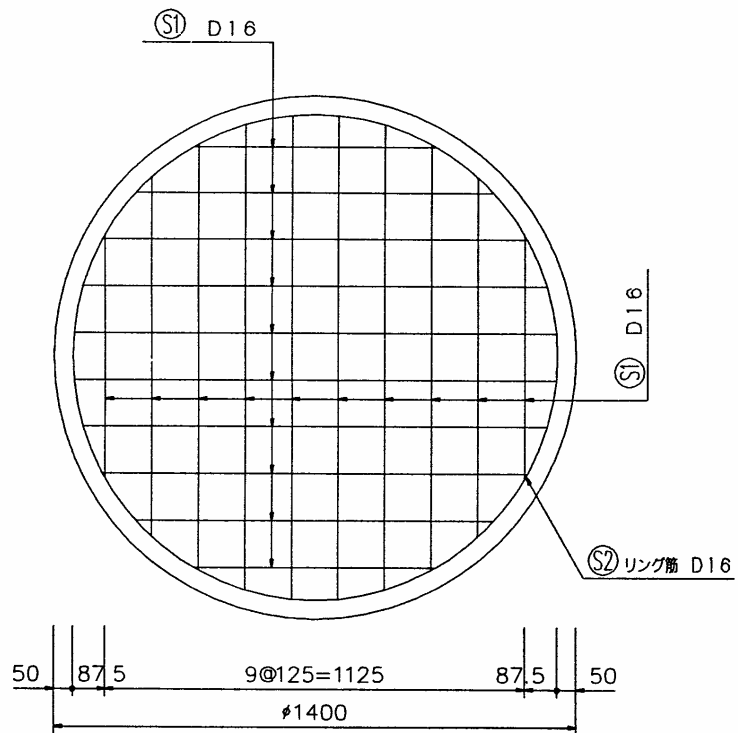


図表 2 - 7 - 3 底板配筋図
 ・ 1号型 (旧小型) ・ 2号型

1号型

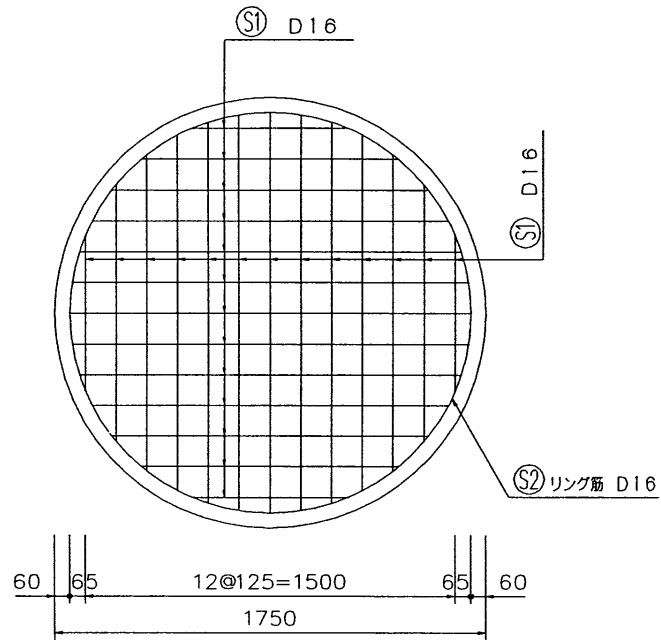


2号型

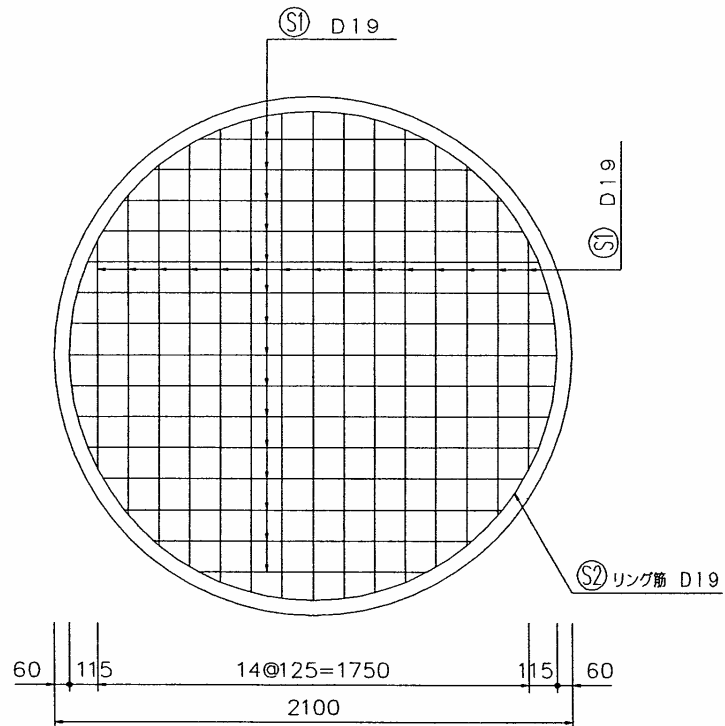


図表 2 - 7 - 4 底版配筋図
(3号型・4号型)

3号型

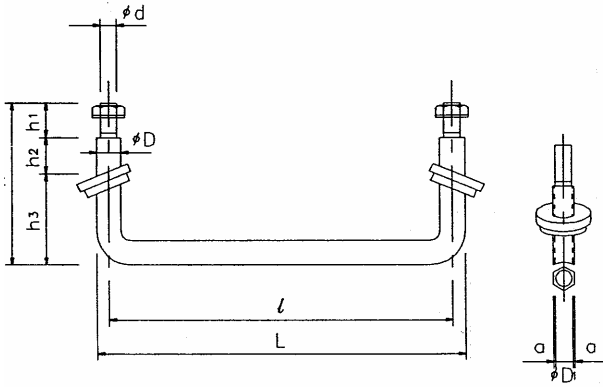
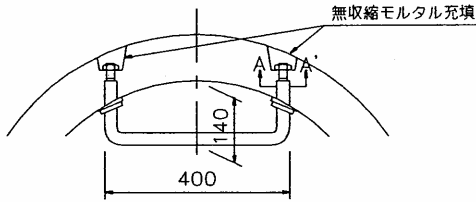


4号型



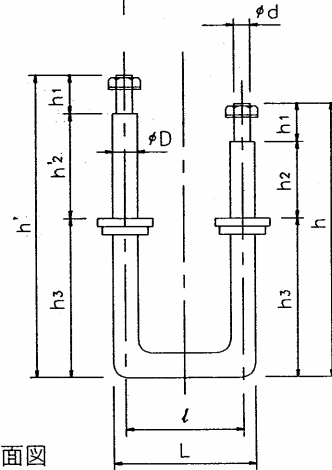
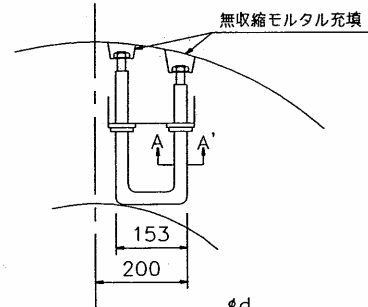
図表 2 - 8 - 1 組立式マンホール用足掛金物

上絞部ブロック・継足管・直立管



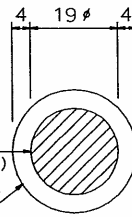
上絞部ブロック補助

(汚泥圧送管空気弁用上絞部を除く)



A-A' 断面図

JIS G 4303
SUS 403- ϕ 19 (M1B)
防錆被覆
ポリプロピレン (MK-3D)



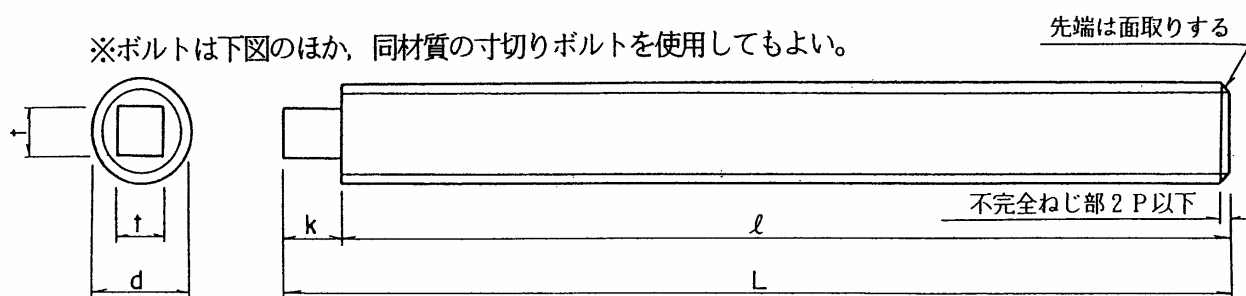
足掛金物 JIS G 4303 (ステンレス鋼棒) SUS403 - 19
ナット・平座金 JIS G 4303 (ステンレス鋼棒) SUS304
防錆被覆加工 ポリプロピレン (MK-3D) すべり止めは両面加工とする。

寸法・許容差

(mm)

記号		D	D ₁	h	h'	h ₁	h ₂	h' ₂	h ₃	L	l	a	d
寸法	上絞部	27	19	185		43	62		80	400	373	2	M-18
	継足管・直立管	27	19	178		38	40		100	400	373	2	M-18
	上絞部補助	27	19	301	332	42	84	115	175	153	128	2	M-18
許容差		±0.5								±2			

図表 2 - 9 - 1 組立式マンホール用枠固定ボルト (形状・寸法・許容差)



材 質 : ステンレスボルト (SUS304)

ステンレスナット (2個) JIS B 1181, 六角ナット, 片面取り

A-M 16 1種

寸法・許容差表

	d	p	k	L		t
150	M-16	2	10	150	140	8
200				200	190	
250				250	240	
300				300	290	
許容差	—	—	±0.3	±1.2	±1.0	±0.4